

地域の魅力再発見講座

◆ねらい（解決したい地域課題）

足守地域には名だたる文化財や史跡だけでなく、昔の人が作った石造物等が数多く存在する。現在では草木に埋もれている石造物も多く、時間の経過と共に人々の記憶からも失われかけている。昔から脈々と繋がってきた地域の史跡等を発掘し、受講生自らが「地域の魅力」を再発見することにより、次世代の人や余所から来られた方に対し、その魅力を伝えることで、深刻化する高齢化社会の現状を少しでも明るく前向きなものにしたい。講座開設6年目となった今では、足守地域だけでなく、広く「岡山」という郷土の魅力を語り、伝えることのできる人材を育成することで、郷土愛を育み、持続可能な地域づくりに貢献していきたい。



【第1回】5月22日
岡山城歴史散策



【第2回】6月29日
誕生寺・本山寺 法然上人ゆかりの誕生寺や美咲町の本山寺（県指定重要文化財）を訪れ、講師に説明を受けました。

〔参加者の声〕岡山県にもこんなに立派なお寺があったなんて！大変驚きました！



【第3回】木下きん定について（座学）・7月17日実施

【第4回】緒方洪庵について（座学）・8月21日実施

暑い時期には館内で地元の名士についての講義を開催しています。現地見学には参加されない地元の方も多く参加され、皆さんの関心が高いことが分かります。写真は、（余談ですが）昨年度訪れた真備町の7月豪雨災害（小田川決壊）がなぜ起きたか、その歴史的背景を講師が説明しているところです。

★実践報告：矢掛町小田公民館

季節を味わおう

～手作りおはぎ体験～

こしあん・きな粉・うぐいすきな粉



◆目的：季節を味わうこと、本来それはとても自然なことである。
季節によって食材は異なり、一番おいしく食べられる時期に味わうこと
によって、自然の恵みや四季の変化も感じることができる。
そこで、忘れがちな日本の伝統行事に再度目を向け、旬の食材について
学び、味わいながら四季を感じてもらおう。

①ボランティアグループ「絵本の会 ゆめ」
おはぎに関する絵本の読み聞かせ、
紙芝居、手うた遊び



②生活部&栄養改善委員さんにおはぎ作りを覚えてもらおう！



③みんなで3色おはぎを作ってみよう！



④最後は、お楽しみの試食会♪



◆効果（参加者の声など）：

核家族なので、普段おはぎを作ることがなく、今回参加して地元の方に丁寧に教えていただき、親子で初めて作りました。今後も、食を通して季節ごとの食文化を実際に体験しながら学んでいけたらと思いました。子どもは、ご飯の中にあんこを入れるのが難しかったようですが、とても楽しんでいました。来年も楽しみにしています。



実践報告書

・ 奈義町公民館

・ こども歌舞伎教室

- ・ ねらい／奈義町に残る伝統芸能「横仙歌舞伎」を後世に伝え、保存伝承につなげる。
こども歌舞伎を通じて、異年齢の交流を図るだけでなく、指導に当る横仙歌舞伎保存会の技芸向上や保護者等の関係者をはじめとする周囲を取り巻く環境の連携を強め、町のコミュニティ活性化を目的とする。



今年度は
夏から11月の本番までに
幼稚園の年長から
中学生までの21名が参加し
3つの演目を上演しました。

本年度の上演演目は…
・ 寿式三番叟
・ 菅原伝授手習鑑 吉田社車曳
・ 義経千本桜 道行の場(家来役)
の3演目でした。

こども達にとって
歌舞伎は新鮮なんだ。
指導者の大人たちも
子どもから新しいことを
多く学びます。

参加者：幼稚園年長～小学生の21名
練習期間：7月～11月
指導者：横仙歌舞伎保存会
活動発表：11月24日・25日



子ども達を中心に、スタッフ、指導者、保護者が一丸となって作り上げる、地域の伝統芸能！

実践報告 清音公民館 ふるさと歴史講座

ねらい

地元及び近隣において、多くの遺跡・歴史資料に恵まれており、これらについての説明等を受けながら、探訪したり学習することにより普段とは違う視点で地元を再発見する。



鬼ノ城・鬼の差上げ岩について文化課の職員の説明を聞きながら、記録写真を撮影したり、疑問点等を積極的に質問していました。

また、皇の墓（文武天皇の皇子の墓）という古い様式の無縫塔も見学しました。



岡山県古代吉備文化センターで遺物復元室と実測室について説明を受け、展示室を見学しました。また、犬養木堂記念館でその生涯について学びました。華麗なる家系についての説明も受けました。

まとめ

「個人で散策したのでは得られない情報、知識が得られるのが講座の魅力。これからも参加したいです。」

「ひさしぶりに山歩きが出来、健康的に良かった。単独ではなかなか訪ねる事が出来ない所をこうして行く事が出来、貴重なふるさとの歴史を学ぶ事が出来ました。」

「岡山県に生まれ育ちながら古代吉備文化財センターの存在をはじめて知りました。勉強になりました。犬養木堂記念館もはじめてで木堂さんを身近に感じられました。」

「木堂についてあまり深く知りませんでしたが少しわかった気がします。以前より興味をもって本など見るでしょう！」